

令和 7 年

第 1 回防府市議会定例会

一 般 質 問

3 月 4 日（7 人）

1 河村 孝・2 梅本 洋平・3 村木 正弘・4 曾我 好則
5 山田 耕治・6 上野 忠彦・7 石田 卓成

3 月 5 日（6 人）

8 中谷 哲・9 宮元 照美・10 藤本 真未
11 生野 美輪・12 重田 直輝・13 森重 豊

3 月 6 日（6 人）

14 和田 敏明・15 久保 潤爾・16 三原 昭治
17 田中 健次・18 原田 典子・19 藤村 こずえ

No.	1	河村 孝	
質 問 事 項			要 旨
1	SDGsの推進と総合計画について		国連の持続可能な開発目標であるSDGsの達成期間である2030年まで、残り5年を切った。 第5次総合計画では、SDGsの理念に沿って推進されてきたが、どのように取り組まれてきたのか、また、次期総合計画では、どのように推進するのか、ご所見をお伺いする。
2	今後、さらなるデジタル化の推進について		新庁舎の供用開始に伴い、窓口での手続きのワンストップ化など、行政としてのデジタル化の第1ステップが完成したと考えられる。 人手不足対策や業務効率化のため、AIの活用等が市内企業でも行われ、デジタル化が進んできている。 行政においても、今後、さらなる市民サービス向上や職員の業務効率化のため、デジタル化の一層の推進が必要だと考える。 また、デジタル化を推進することは、環境問題として、ペーパーレス化にもつながるものとする。 本市における、今後のデジタル化の推進について、ご所見を伺う。
3	防災対策の強化について		能登半島地震を教訓に、近い将来想定される南海トラフ地震に備えた防災対策の強化が求められている。 本市における、防災対策の強化について、ご所見をお伺いする。

No.	2	梅本 洋平
質 問 事 項		要 旨
1	第6次総合計画について	第5次総合計画に掲げられたプロジェクトは順調に進んでおり、1月には市役所新庁舎がオープンするなど、まちづくりは大きく進んでいる。 来年度は、第5次総合計画の最終年度となることから、次の第6次総合計画の策定に着手されており、先日議会にもご説明をいただいたところである。 そこで改めて、地方創生が叫ばれている中、次期総合計画の策定について、執行部のご所見を伺う。
2	健康寿命を延ばすピロリ菌検査の普及促進について	ピロリ菌は幼少期に感染し、長期間持続することで胃がんの主な原因となる。早期発見と除菌治療により胃がんリスクを大幅に低減できることが確認されている。ピロリ菌検査への市の考え方、これまでの取り組みについて伺う。

No.	3	村木 正弘
質 問 事 項		要 旨
1	ろう者や難聴者への意思疎通支援について	今年１１月に聴覚障害者の第２５回夏季デフリンピック競技大会 東京２０２５が日本で初めて開催されることもあり、手話言語条例の施行に期待の声が多い。施行に向けて進捗状況を伺う。 また、デフリンピックに向けて、市としてどのような取り組みを考えておられるかご所見を伺う。
2	道路内に埋設されているインフラの安全・安心について	１月２８日に発生した埼玉県八潮市での道路の陥没事故は、２０２１年度での調査では補修が必要な腐食箇所が確認されなかったにもかかわらず陥没が起こり各地で不安が広がっている。 公共インフラの適切な整備は地域住民の安全と安心のために重要である。 下水道管の維持管理、老朽化対策は緊急かつ大きな課題である。 (１) 本市では緊急点検をされたのかを伺う。 (２) 本市の下水道管の点検の頻度や手法について伺う。 (３) 技術系職員の後継者の育成についてどのように取り組んでいかれるかご所見を伺う。

No.	4	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	令和7年度当初予算について	令和7年度当初予算に込めた市長の思いと来年度の取組を進めるにあたっての決意を伺う。
2	防府競輪について	防府競輪場は、昨年10月にリニューアルオープンし、併設する「KEIRINパーク」では家族連れでにぎわう施設に生まれ変わった。 この競輪場を活かした、今後のまちづくりについて、ご所見を伺う。

No.	5	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	マイナンバーカードについて	(1) 健康保険証の廃止（令和6年12月）に伴うマイナンバーカードの普及状況は？ (2) マイナンバーを導入することによる病院等の設備導入状況と対応状況は？ (3) 福祉医療費助成制度とマイナンバーカードの連携した取り組み状況は？
2	「赤ちゃんの駅」について	(1) 乳幼児を抱える保護者が、外出中に授乳やオムツ替えを行うことができる施設「赤ちゃんの駅」の登録状況は？ (2) 新施設ができる中で、今一度「赤ちゃんの駅」PRをすべきでは？ (3) 以前、子育て応援ナビとの連携もお願いした。定期的に最新情報を更新すべきでは？
3	新庁舎等の活用について	(1) 庁舎の8階からは、市全体を眺望できる素晴らしい空間。この場所を市民の集いの場にするための施策も必要と考える。高齢者や学生、カップルが集う待ち合わせ場所としての活用を促し、ホームページや広報でPRをしては？ (2) 昨年末まで市の業務場所として利用していた建物の活用は？ (3) 庁舎内多目的スペースへふるさと納税品や地産地消等の展示。また、防府市で生まれた『幸せますグッズ』の販売も含めて考えてみては？

No.	6	上野 忠彦
質 問 事 項		要 旨
1	沿岸部における浸水対策について	近年、集中豪雨や大型台風、大規模地震など、災害が激甚化・頻発化している。 高潮や津波の発生リスクが高まる中、本市の沿岸部における浸水対策について伺う。
2	選挙の投票率向上に向けた今後の取り組みについて	選挙の投票率向上に向けた今後の取り組みについて (1) 若者の投票率向上の取り組み ア. 小中学校における主権者教育の取組について イ. その他の主権者教育の取組について (2) 期日前投票所の拡充について

No.	7	石田 卓成	
質 問 事 項			要 旨
1 全職員参加型の職員提案制度への再構築と、A I 活用による市民ニーズの把握に向けた、デジタル民主主義 2030 プロジェクトへの防府市の参加について			全職員参加型の職員提案制度へ： 部署間連携の強化、意欲の向上、働きがいのある職場づくりを！ デジタル技術で市民と連携： デジタル民主主義 2030 プロジェクトへの参加を！ (1) 実現件数： 提案制度開始以降、実現提案数は？ (2) 提案テーマと組織文化： 部署の壁を越えた提案を促す環境づくり、風通しの良い組織文化への見解は？ (3) 【新提案】 全員参加型制度導入へ： 全職員に年 1 回の提案を義務化すること、提案しやすい環境への具体的取り組みは？ (4) 自主学習支援と議会連携： 既存の仕組みの活用状況・理由・促進策は？ 【新提案】 議会へ提案の内容を伝え（希望者のみ匿名）、職員の自主研究と議員視察を連携させることへの見解は？ (5) 政策実現と人事評価： 優秀提案の迅速な政策実現体制、提案者の意欲・潜在能力を最大限評価する人事制度への見解は？ (6) 【新提案】 不採用提案の公開と再検討： 不採用提案の匿名公開（提案時に公開許諾確認欄を設ける）での市民や議会への情報公開と、採用されなかった提案の再検討への見解は？ (7) 【新提案】 デジタル民主主義の推進： 市民意見の収集や、業務効率化を目指しての職場での A I 活用、案野氏のデジタル民主主義 2030 プロジェクト参加への見解は？ (8) ロードマップとリーダーシップ： 職員提案制度活性化への具体的ロードマップ策定と、市長の積極関与を！

No.	8	中谷 哲
質 問 事 項		要 旨
1	がんばる地域応援事業について	今年度の活用状況及び今後の事業のあり方についてお伺いする。
2	部活動の地域クラブへの移行について	令和7年度末の完全移行にあたり、現状及び今後の取組についてお伺いする。

No.	9	宮元 照美
質 問 事 項		要 旨
1 女性視点の防災の取り組みについて		防府市では500名あまりの防災士がいると承知しているが、その中で女性防災士は約一割との事。 いろいろな分野で女性の参画が求められている状況を鑑み、防災活動においても女性の参加が必要と考える。 女性視点を防災に取り入れる為の、防府市の取り組みを教えてほしい。

No.	10	藤本 真未
質 問 事 項		要 旨
1 地域クラブ活動への移行に伴う諸課題について		(1) 今後、クラブが地域移行になると、子どもたちの移動に自転車の利用が必要になると考えられます。 現在は学校から家までの距離等が判断基準であったと思いますが、今後はどう進められるのかご所見を伺う。 (2) 教科書等をはじめ、部活の道具を持って移動となります。タブレット導入＋教科書＋クラブの道具を持って移動を考えた場合、体への負担や交通の安全性に懸念を抱きます。学校が終わったあと、直接希望する学校のクラブに向かうこともあるが、置き勉(教科書などを学校に置いて帰宅する行為)を許可し、その上でタブレットの活用を充実するお考えについて伺う。 (3) 競技、結果志向とレクリエーション志向など、多様なニーズに応えられるようにとあるが、地域クラブは複数の学校から参加するため、学校行事等で2週間チームメイトが揃わないといった現象もおき、団体種目に関しては試合前であっても練習にならないこともあると耳にしております。その点について把握されているのでしょうか？ また、テスト週間を統一することについてどのような課題があるのかご所見を伺う。
2 市議会議員選挙の投票率について		(1) 今回の選挙結果の投票率を集計されていると思いますが、このデータを市民にも公表すべきだと考えますが、市のお考えを伺う。 (2) 期日前投票を含む、選挙全体の周知方法、若者の投票率向上についての今後の取り組みについて伺う。

No.	1 1	生野 美輪
質 問 事 項		要 旨
1	これからの市営住宅について	市営住宅は、安全・安心な住まいとして重要な役割を果たしてきた。しかし、社会の多様化とともに、変化していくことが必要と考える。今後の市営住宅についてご所見を伺う。 (1) 市営住宅の空き住戸の活用と地域の活性化について (2) 市営坂本住宅の建替えについて
2	こどもの遊び場について	近年、猛暑などにより、こどもが外で遊びにくい環境になっている。また、雨の日に遊べる場所が少ない。こどもがいつでも元気に遊べるような場所が必要ではないか。ご所見を伺う。

No.	1 2	重田 直輝
質 問 事 項		要 旨
1	防府読売マラソン大会について	防府読売マラソンの今後の大会運営及び市のPRの展望について伺う。
2	児童用かばん支給事業について	児童用かばん支給事業の改善に向けて、保護者や子どもに対し、独自にアンケートを実施した。その結果をお示しし、その所見を伺う。また、令和6年12月に実施されたプロポーザル入札の募集要領について伺う。

No.	13	森重 豊
質 問 事 項		要 旨
1 防犯灯の設置について		地域クラブ活動移行に伴い、子どもが活動場所へ自転車で移動することがあると思われるが、移動場所への道筋において、民家等も無く安全が確保できない場所に対して防犯灯が必要と考えますが、いかがでしょうか。
2 適正な職員配置について		まちづくりが順調に進んでおり、職員の皆さんの頑張りには頭が下がる思いである。心身ともに健康で働きやすい職場を維持するため、適正な職員の配置についてどのように考えているか。

No.	1 4	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1	路面下の上・下水道管等の地下埋設物について	(1) 下水道管について ア. 標準耐用年数を経過している下水道管の延長は イ. 点検の義務化がされている腐食の恐れが高い下水道管の個所数と延長は ウ. 点検の実施年及び結果は エ. 点検後の不良個所への対応策は (2) 上水道管について ア. 標準耐用年数を経過している水道管の延長は イ. 点検の義務化がされている腐食の恐れが高い水道管の個所数と延長は ウ. 点検の実施年及び結果は エ. 点検後の不良個所への対応策は (3) 路面下の空洞化状況調査について
2	校則について	校則見直しの進捗状況について
3	生成 A I の活用とデジタル化の推進について	業務の効率化による、よりよい行政サービスの向上と働き方改革を目指し、デジタル化を推進されている中での生成 A I の活用について

No.	15	久保 潤爾	
質 問 事 項			要 旨
1 市民からの要望への対応について			毎年、市民からは多岐に渡る要望が市に届けられる。 すぐに対応できる案件については問題ないが、予算の都合・事業内容の検討などで、対応に時間がかかるものもある。そのような案件に関しては、要望書を提出された方に、進捗状況についてお知らせしていくことが大切であり必要であると考えます。 これら実現に時間を要する要望を含め、どのように対応されているのか伺う。

No.	16	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	消防団の団員不足の現状と対策について	地域防災の要として、地域の防災活動を担う消防団では、団員のなり手不足と高齢化が深刻化してきている。 総務省消防庁によると、かつて200万人以上いた全国の団員数は平成2（1990）年に100万人を切り、令和4年には80万人を割り、5年4月時点で約76万人と、年々減少の一途にある。これに伴い、全国の市町村が条例で定める定数約88万人に対し、12万人足りない状況にあるとのことだが、防府市における消防団員の現状と確保のための対策と取り組みは。
2	安全で安心「防犯のまち防府」の構築について	近年、闇バイトによる若者たちの強盗事件や無差別殺人など、これらの犯罪は年々増加している一方で、ますます凶悪化してきている。特に、高齢者を狙った強盗事件は、かつての日本では考えも及ばないものであり、いつ、誰が襲われるか計り知れない恐怖に、多くの高齢者や市民は怯えているのが現実です。防府市では、市民の安全・安心を守るための取り組みとして、どのような対策を講じているのか。また、今後、市民の安全・安心の確保のために、どのような取り組みを行っていくのか。安全で安心「防犯のまち防府」の構築を。

No.	17	田中 健次
質問事項		要 旨
1	ひきこもり支援について	厚生労働省は、それまで都道府県、政令指定都市に設置されていた「ひきこもり地域支援センター」を令和4年度から市区町村を設置主体として拡充し、令和5年度で32市区町が設置しています。 その前段ともいえる「ひきこもり支援ステーション事業」には、93市区町、県内では宇部、山口、萩、山陽小野田の4市が実施をしています。 防府市は、もう一段階前のグループとして、「サポート事業」を実施している120市区町村となっています。県内では、下関、長門市もこのグループになります。 防府市も「ステーション事業」や「地域支援センター」設置に取り組むべきではないか。
2	市の公共施設のユニバーサルデザインについて	(1) 山口県福祉のまちづくり条例設計マニュアルにおいては、「構造等基準」「設計標準」「望ましい配慮」の3段階で、建築物等のバリアフリーについて定めています。 市の公共施設において、バリアフリーとするために、どの段階までの整備を考えられているのか。 施設の種類によっても、異なるのか。 (2) マニュアルの「手すり」の箇所を見ると、「設計標準」として、「廊下等には、手すりを設けます」と記載されているが、近年に建設された公民館には、廊下に手すりがありません。設置すべきではないか。

No.	18	原田 典子
質 問 事 項		要 旨
1	福祉について	地域包括支援センターにおける業務の現状について。
2	学校教育について	(1) 小学校の防災訓練のあり方について。 (2) 中学校の修学旅行における大阪万博2025見学について。
3	带状疱疹ワクチンについて	次年度より带状疱疹ワクチンの定期接種が始まる。それに伴い、防府市でも予防接種費用の7割を公費負担するとのことだが、具体的なところを伺う。
4	新庁舎について	新庁舎ができて大変喜ばれているが、庁舎内サービスがより良くなるよう改善を求めたい。

No.	19	藤村こずえ
質 問 事 項		要 旨
1	「スポーツのまち防府」について	合宿誘致について スポーツ合宿は経済的な活性化のみならず、交流人口や関係人口の拡大、地域の活性化にもつながっている。本市が持つ豊富な観光資源やスポーツ施設は合宿誘致を進める強みである。現在も実業団陸上部が合宿に訪れてアスリートとの交流など、様々なイベントも行われているところではあるが、今後、取り組みをどのように進められるのか、ご所見をお伺いする。

